

# 全国港湾Fax通信

No. ....

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番)全国港湾18FAX第92号
(宛先)	2019年 5月13日 時 分
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者) 全国港湾書記局

(件名)

## 19 港湾春闘情報(6)

(本文)

1. 5月9日(木)に第8回中央港湾団交を開催し、日港協はアライアンス、定年延長、港湾年金の支給要件、労災補償について修正提案を行い、同時に産別制度賃金と事前協議問題については、中央団交の下で「小団交」を開催し協議することを提案した。

組合は、今まで回答らしい回答も出ない中で、やっと19春闘のスタートに立ったとしたうえで、19春闘要求の現時点で出来ることを確認し、産別制度賃金と事前協議問題は「小団交」で行い、協議がまとまり次第中央団交の開催で現状の打開を図ることとした。当面、5月14日午後に「小団交」の開催を予定している。このことを受け、個別の賃金交渉もようやく本格交渉に動き出した。各単組の交渉状況について、5月13日現在の取り組みを下記します。

### 2. 各単組の取り組み状況について(5月11日現在)

- (1) 全港湾
- ① 基本給一律20,000円、65歳までの定年延長、労災補償の引き上げ、初任給の引き上げを求め、統一回答指定日は3月20日(水)を基本として、各地方の集中回答指定ゾーンを20日(水)から25日(月)とする。
  - ② 3月25日現在、回答平均額は速報分会で、3,833円、闘争分会で、3,495円となっており、昨年をやや下回る出だしとなっている。
  - ③ 速報分会の回答状況(5月11日現)、140分会中100分会(71%)に有額回答が示され、回答平均は、4,033円(率1.31%)。闘争分会は、321分会中218分会(68%)に有額回答が示され、回答額平均は、3,739円(率1.4%)となっている。

- (2) 日港労連
- ① 基準内月額賃金20,000円、制度賃金6%引き上げ(基準内として)を要求し、2月19日に要求書を提出した。港荷交渉の主旨説明では統一回答を行うことを強く主張し、竹内事務局長は二人前(4万円)の要求をおこなった。
  - ② 3月20日(水)に第3回港荷労使交渉で、業側は「統一回答は現時点ではできない」とした。それを受けて組合側は、統一回答を再度求めるとともに、事実上ゼロ回答であることから、3月31日(日)以降の毎日曜日の始業時から、翌日の始業時までの24時間ストを通告した。
  - ③ 5月9日開催の第5回港荷団交で、個別労使による基準内賃上げ協議が整ったことを受け(基準内平均6,000円)交渉は妥結した。その他

要求項目で、65歳定年延長について2020年4月1日より62歳定年延長について協定した。

- (3) 検数労連
- ① 基本給一律20,000円要求と産別協定完全履行を求め、2月12日に要求書を提出した。産別課題や「働き方改革」による休暇の消化等職場環境の改善を求めた。有額回答指定日を3月27日(水)に変更を行った。
  - ② 3月27日に第5回団交を開催。両協会は中央港湾団交の方向性が見えない中で、具体的回答は出来ないとした。組合は中央団交の決裂に伴い3月31日(日)以降の毎日曜日の始業時から翌日の始業時までの休務権行使を通告した。
  - ③ 日検は5月13日開催した第8回団交で、4,994円(定昇込)の回答があった。全検は具体的金額の回答はなかった。次回は16日を予定している。
- (4) 検定労連
- ① 海事検定職組一人平均17,225円(6.0%)要求、シンケン労組組合員一人平均14,069円を要求し、2月25日に要求書を提出した。
  - ② 解除検定職組は3月27日開催の企業内交渉で、基本給5円の上積みで、1,025円の回答があった。
  - ③ 検定労連は5月10日現在、各単組とも大筋合意となっている。
    - ・海事検定職組は、4,000円(基準内) +  $\alpha$
    - ・(株)シンケン労組は、組合員一人平均月額、4,185円 +  $\alpha$
    - ・新日本検定(参考)は、労組組合員平均、3,642円
- (5) 全倉運
- ① 「5% +  $\alpha$ 」を統一要求基準とし、統一要求書の提出日は3月12日(火)、統一回答指定日を3月26日(火)とする。
  - ② 3月27日現在、単純平均(26組合)額で、5,074円(率で1.94%)前年比▲867円(▲0.36) 加重平均(3,014人) 4,986円(率で、1.81%)前年比▲425円(▲0.19)となっている。
  - ③ 5月10日現在、単純平均(31組合)額で、4,960円(率で1.88%)前年比▲539円(▲0.23) 加重平均(3,098人) 5,191円(率で、1.89%)前年比▲1685円(▲0.09)となっている。
- (6) 大港労組
- ① 基準内賃金月額20,000円を要求。2月26日(火)に第1回団交を開催し、要求書主旨説明を行った。次回は3月22日を予定している。
  - ② 第3回船内統一団交を3月22日に開催した。業側は「中央団交の経緯もあり、現状では賃上げ回答はできない。また、元請との交渉も進んでいない。定年延長問題、退職金問題は統一での回答は困難である」と回答。組合側「現状賃上げ回答できない事は理解するが、定年制度と退職金問題については統一回答で前進をはかる事を前提で進めていく」とし、全国港湾指示のもとに、3月31日(日)始業時から24

時間の就労拒否、荷役阻止を通告した。

③ 5月10日(金)に第5回船内統一団交を開催した。個別賃金交渉を行い、終了後に各支部提示金額の確認と妥結意思確認を行った。

(7) 全日通 2月12日(火)に要求書を提出した。賃金について2019年4月から新社員制度・新賃金制度等を労使で確認したことから、今春闘は「定期昇給相当分と調整資金」のみを要求した。一時金については、1人あたり平均年間140万円を要求した。

賃金について、4,780円(定期昇給および調整資金50円)、一時金は年間118万円(夏季一時金58万円、年末一時金60万円)で、3月14日に妥結した。

### 3. 他団体の賃上げ状況について

#### (1) 連合

5月10日現在、平均6,217円(2.10%)で、昨年同期を156円(0.01ポイント)上回った。中小組合は、4,925円(1.99%)と昨年同期を若干下回った。

#### (2) 国民春闘共闘

4月11日現在、単純平均5,428円(1.97%)。加重平均5,983円(2.0%)

#### (3) 経団連

4月23日現在、大手60社8,310円(2.46%) / 昨年実績、6,998円(2.17%)

以上